

東京都豊島区と 「見守りと支えあいネットワーク事業に関する協定」を締結 ～1月17日(木)11時30分より豊島区役所にて協定調印式を実施～

コープみらい(本部:埼玉県さいたま市、理事長:新井 ちとせ、事業エリア:千葉県・埼玉県・東京都)は、東京都豊島区(区長:高野 之夫)と、「見守りと支えあいネットワーク事業に関する協定」を締結します。

つきましては、1月17日(木)11時30分より、豊島区役所にて「見守りと支えあいネットワーク事業に関する協定」調印式に他の生協団体とともに出席します。ぜひ、ご取材をいただけますと幸いです。

豊島区との「見守りと支えあいネットワーク事業に関する協定」では、宅配サービス等の業務中に職員が高齢者等の異変に気付いた場合、高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)へ情報提供いたします。一刻を争う緊急事態であることが明らかなきは、警察署や消防署等に速やかに通報いたします。

また、職員の認知症サポーター養成講座の受講による正しい知識の習得とご本人やご家族への可能な範囲での支援、高齢者等に消費者被害の兆候があった際の消費生活センターへの通報などを行います。

コープみらいでは、これまで自治体が行う地域の見守りネットワークに参加・登録をしており、今回の協定締結により、東京都では全53市区町村(東京都の島嶼部を除く)と協定を締結することとなります。

今後も、地域の見守り活動への協力を深め、地域に密着した事業や活動を広げてまいります。

● 「見守りと支えあいネットワーク事業に関する協定」調印式実施概要

日時:1月17日(木)11時30分～12時

会場:豊島区役所 区長応接室(住所:東京都豊島区南池袋2-45-1)

出席者:豊島区長 高野 之夫 様

コープみらい副理事長 小林 新治

同時に締結する事業者:パルシステム東京、北東京生活クラブ生協、東都生協、東京都保健生協



この取り組みは、『SDGs』の目標11
「包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する」に貢献します。

コープデリ連合会と会員生協は、2015年に国連で採択された17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標(SDGs)」の実現に、事業と活動を通して貢献します。

《生活協同組合コープみらい 概要》

【住所】埼玉県さいたま市南区根岸1-5-5

【総事業高】3,898億円(2017年度)

【理事長】新井 ちとせ(あらい ちとせ)

【事業エリア】千葉県、埼玉県、東京都

【組合員数】346万人(2018年12月20日現在)

【ホームページ】<http://mirai.coopnet.or.jp/>